

主要事業の概要

●は21年度新規事業
括弧内は予算書掲載ページ

1 総務費

- (1)帰宅困難者対策 (P. 149) **1, 016万円**
(危機・災害対策課)

東京都の想定では、大地震発生の際は、多数の帰宅困難者が発生し、上野駅周辺の滞留者は約9万人と想定されている。

このため、上野駅周辺の事業者等を構成員として駅前滞留者対策などの検討を行う「駅前滞留者対策推進協議会」を設置し、駅前滞留者対策計画を策定する。

さらに、東京都とともに駅前滞留者の避難誘導訓練等を実施する。

△協議会参加機関 (予定)

鉄道事業者、商店街、大型集客施設、町会、防災機関
など

- (2)初期消火体制の強化 (P. 149) **1, 104万円**
(危機・災害対策課)

災害時の地域消防力の強化を図るため、従来から維持管理している消火器に加え、地域住民（自主防災組織）や区職員が活用できる消火栓から直接放水可能な消火器具（スタンドパイプ）を区民事務所などに配備する。

さらに地域の事業所等への設置を推奨するなどにより、地

域住民と事業所との連携も図っていく。

△配備数 14セット

△配備場所(予定)

本庁舎、区民事務所、区民センターなど13箇所

●(3)情報化推進計画改定(P.157)

600万円

(情報システム課)

ICTを有効活用し、台東区の「行政情報化」「地域情報化」を総合的・体系的に推進する指針として「台東区情報化推進計画」を改定し、区民サービスの一層の向上と効率的な行政運営を推進する。

△計画期間 平成22年度～平成26年度

(4)北部区民事務所(馬道区民館併設)建設(P.180)

1億3,393万円

(区民課)

昭和48年に建設され、老朽化が進んでいる北部区民事務所(馬道区民館併設)の改築工事を行う。

△建設地 浅草4丁目48番街区

△施設概要

○敷地面積 161.70㎡

○延床面積 532.13㎡(予定)

○建物規模 地上5階建

○工期 平成21年9月～22年11月末(予定)

○施設内容 事務室、集会室（洋室2室、和室1室）、
倉庫等

2 民生費

(5) (仮称) 清川二丁目福祉施設整備 (P.149、P.186、P.204)

3億819万円

(危機・災害対策課)(子育て支援課)(高齢福祉課)

民間社会福祉法人の誘致により、旧蓬萊中学校跡地を活用して高齢者福祉・障害福祉及び子育て支援施設等を整備する。

当該社会福祉法人に対し、施設整備費補助を行う。

△開設予定 平成22年4月1日

△対象者 社会福祉法人 清峰会

△助成方法 建物竣工後、当該年度の補助金を支出する。

(6) 北部地域簡易宿所転換助成 (P.187)

7,650万円

(生活援護課)

北部地域の簡易宿所事業者が、ビジネス客・観光客等の受入を目的に簡易宿所の設備改修を行う場合、または、住宅等に建替える場合に費用の一部を助成する。

平成21年度は、助成の一部を増額するとともに、新たに社員寮や商業施設への建替え、ホテル・旅館への建替え等に対しても助成を行い、北部地域の環境改善と活性化を図る。

△事業内容

○簡易宿所設備改修助成

ビジネス客・観光客等の受入に対応するための浴室、トイレ等設備改修工事等に対する助成（限度額 1,000 万円）

○簡易宿所住宅・住宅系施設転換助成

集合住宅、共同住宅又は社員寮等住宅系施設への建替え等に対する助成（限度額 1,400 万円）

○簡易宿所商業施設転換助成

簡易宿所を店舗・飲食店等他の業種に転換するための建替え等に対する助成（限度額 1,400 万円）

○簡易宿所建替え助成

ビジネス客・観光客等の受入に対応するための建替え又はホテル・旅館への建替え等に対する助成（限度額 1,400 万円）

○相談員の派遣 15回／年

(7) 北部地域活性化支援（P. 187）

171万円

（生活援護課）

北部地域において、城北旅館組合等の地元団体が実施する事業に対して支援することにより、地域の活性化を図る。

△主な事業内容

○旅行雑誌への広告掲載費補助

○地域情報マップ作成費補助

○簡易宿所空室予約管理システム構築費補助

これらの取り組みにより、簡易宿所への、ビジネス客・観光客等の受入を促進し、「北部地域簡易宿所転換助成」（No.6 に掲載）の利用拡大に繋げる。

●(8)旧老人保健施設千束活用（P.188）

1,600万円

（高齢福祉課）

現行の区立老人保健施設千束は、千束保健福祉センター（千束3丁目28番13号）の2階から6階で設置運営されているが、平成21年4月1日からは、同日に開業する区立台東病院（千束3丁目20番5号）に移転し一体的に運営される。

移転後の活用として、小規模特別養護老人ホームを設置するとともに、千束保健福祉センター2階に併設されている身体障害者生活ホームのフロム千束を拡充する。

平成21年度は実施設計を行う。

●(9)障害児放課後対策（P.200）

2,470万円

（障害福祉課）

既存のこどもクラブ・児童館では施設面で対応が困難な重度障害児の放課後及び夏季休業中等における居場所を確保し、見守り・介助等のサービスを提供する。これにより、その保護者の子育て負担の軽減や障害児の安全の確保を図る。

△開設箇所 1箇所

△開設予定 平成21年度早期

△対象者

義務教育諸学校の放課後等に見守り等が必要な障害児であり、保護者が就労、介護等により見守り等を行うことが出来ない世帯の当該障害児。

△利用時間

○学校登校日

放課後～午後6時（延長利用1時間）

○学校休業日

- ・春休み、夏休み、冬休み

午前8時30分～午後6時（延長利用1時間）

- ・土曜日

午前8時30分～午後5時

△利用料 4,000円／月（延長利用1,000円／月）

△利用定員 20名程度

●(10) 寿子ども家庭支援センター運営（P.203） 2,820万円

（子育て支援課）

子どもと家庭に対する総合的な相談や、子育て支援に関する事業及び地域活動を行う子育ての拠点としての「子ども家庭支援センター」を設置する。

既に、「台東子ども家庭支援センター（愛称・わくわくひろば）」と「日本堤子ども家庭支援センター（愛称・にこにこひろば）」の2箇所を設置しており、新たに旧済美小学校3階に「寿子ども家庭支援センター（愛称・のびのびひろば）」をオープンする。

△開設場所 寿1丁目10番10号 旧済美小学校 3階

△開設時期 平成21年4月1日

△対象者

区内在住の18歳未満の子ども及び保護者または、子育て支援活動にかかわる者

△指定管理者 特定非営利活動法人 子育て台東

3 衛生費

●(11)健康都市連合 (P. 217)

33万円

(健康課)

平成19年12月に行った「たいとう健康都市宣言」に基づき、健康都市としての取り組みを一層推進していくため、健康都市を標榜する自治体のネットワークである「健康都市連合(WHO西太平洋地域及び同日本支部)」に加盟する。

活動として、健康施策や健康づくり手法などに関する健康都市相互の情報交換や、大会での健康施策に関する活動事例の報告等を行う。

なお、東京都内の自治体で「健康都市連合」に加盟するのは初めてである。

※健康都市連合 WHO西太平洋地域に加盟している日本の都市

11都市 (平成20年7月25日現在)

※健康都市連合日本支部に加盟している都市

25都市 (平成20年7月25日現在)

●(12)口腔ケア連携推進 (P. 218)

1, 640万円

(健康医療課)

高齢者に多い誤嚥性肺炎の予防や、口腔機能が衰え口から食事が困難となり栄養状態が悪化している方などに効果がある口腔ケアについて、医療機関や介護事業者と連携して推進することで、口腔から区民の健康づくりを進める。

区の口腔ケアセンターを拠点に、高齢者を主な対象として歯科衛生士が訪問により口腔ケアの相談や指導を行う。

また、介護事業者や医療機関からの口腔ケアに関する相談を受けるほか、口腔ケアを効果的に推進するための個人別の口腔ケアプランについて、区民と医療機関や介護事業者との調整を行う。

△拠点施設 三ノ輪口腔ケアセンター

△所在地 三ノ輪1丁目27番11号 三ノ輪福祉センター8階

●(13)新型インフルエンザ対策 (P. 218)

7, 740万円

(生活衛生課)

新型インフルエンザ対策として、平成20年11月に「台東区新型インフルエンザ対策行動計画」を策定した。これに基づき、平成21年度は備蓄品等の充実を図る。

主な備蓄品は、初動調査及び発熱外来等で使用する防護服セット並びに抗インフルエンザ薬、学校等の区有施設利用者用のマスク、感染症判定用簡易キット等。

また、行動計画にそって具体的対策を進めるための「(仮

称) 台東区新型インフルエンザ対策行動マニュアル」を作成する。

●(14)肺炎球菌ワクチン接種費助成(P.226) 1,870万円

(保健サービス課)

免疫力が低下している高齢者の肺炎重症化を防止するため、肺炎球菌ワクチンの接種費の一部を助成し、高齢者の健康を守る。

△助成対象者 満65歳以上の区内在住者

△助成金額 4,000円

△実施期間 平成21年10月～平成22年2月

△実施医療機関 区内協力医療機関

(15)ヒートアイランド対策推進(P.237) 6,224万円

(環境課)

熱を溜めない都市空間を目指し、屋上緑化等を進めることにより、区内の緑化面積の拡大を図る。

区有施設では、学校を中心に屋上緑化や緑のカーテンの整備を進める。また、区の花・あさがおによる緑のカーテンを地域へ普及するための講習会やコンテストを実施する。

△事業内容

○区立小中学校等屋上緑化整備 (新たに2校)

○区立小中学校等緑のカーテン整備 (新たに3校、
1箇所)

○緑のカーテン講習会・コンテスト

● (16) 太陽エネルギー利用機器の設置助成 (P. 237) 375万円

(環境課)

環境負荷の少ない都市の実現に向け、太陽エネルギーを利用した機器の設置費用の一部を助成する。

補助対象は、区内に機器を新規に設置する場合とし、太陽光発電システムのほか、太陽熱温水器等も対象とする。

国や東京都の補助制度とあわせて実施することで、設置する区民の費用負担を大幅に軽減するとともに、太陽エネルギーの利用拡大と家庭におけるCO₂排出量の削減を図る。

△助成金額

- 太陽光発電システム 7万5千円／kw (限度額30万円)
- 太陽熱ソーラーシステム 3万円／㎡ (限度額20万円)
- 太陽熱温水器 7千5百円／㎡ (限度額 3万円)

(17) 環境基本計画フォローアップ (P. 238) 901万円

(環境課)

地球温暖化をはじめとする近年の様々な環境問題に対応するため、策定から10年を経過する「台東区環境基本計画」を見直し、現況を踏まえた新たな目標と重点施策を盛り込む。

また、今後の温室効果ガス削減目標などを示す「台東区地球温暖化対策地域推進計画」や区役所自体が対策に取り組むための「台東区地球温暖化対策推進実行計画」もあわせて改定する。

さらに、学校や地域等の各主体が連携し、環境学習を体系的に推進するため、「(仮称) 台東区環境学習推進計画」を

新たに策定する。

これらの4計画により、環境施策の一層の推進を図る。

4 文化観光費

(18) 朝倉彫塑館改修 (P. 252)

4, 022万円

(文化振興課)

区立朝倉彫塑館は「狭隘な空間に濃密に展開する庭園の芸術上・観賞上の価値は高く重要である」と評価され、平成20年3月に国の名勝に指定された。しかし、本館は築70年を経過しており、老朽化への対応や耐震補強が必要となっている。

このため、平成20年度に行った実施設計に基づき、保存修復工事に着手する。平成21年度は建物の一部解体等を行う。

△所在地 谷中7丁目18番10号

△工事期間 平成21年度～平成24年度(予定)

(19) 観光プロモーションの推進 (P. 255)

2, 781万円

(観光課)

国際観光都市・台東区のさらなる周知と、国内外の観光客誘致を図るため、インターネットや国内外情報誌、映像ライブ配信等様々な媒体を活用し、台東区の魅力ある情報を積極的に発信するプロモーション事業を展開する。

△事業内容

- W e b 媒体を活用した特集P R 掲載
- W e b カメラによるライブ映像配信
- 国内外情報誌への広告掲載
- 観光映像ビデオおよびD V D 制作等

(20) 映画祭の開催 (P. 256)

8, 4 0 0 万円

(観光課)

台東区の魅力を国内外に発信し、誘客効果を高めるため、上野地区及び浅草地区の両会場において、コメディ映画祭を開催する。また、映画祭開催期間中に会場周辺で地元団体等と共催し、映画祭来場者以外の来街者も楽しめるイベント等を開催する。

△主催 「したまちコメディ映画祭 in 台東」 実行委員会

△時期 平成21年9月予定

△会場 (上野地区) 上野東急ほか

(浅草地区) 浅草公会堂ほか

△事業内容 (詳細未定)

- 邦画・洋画のコメディ映画 (新作・旧作) の上映
- 映画出演者・製作関係者等参加イベント
- 地元商店街等とのタイアップイベント

(21) 浅草文化観光センターの整備 (P. 256) 3億291万円

(観光課)

東京スカイツリー開業などによる観光需要を視野に入れるとともに、国際観光都市として相応しい施設に機能を強化し、観光客の利便性や回遊性の向上を図るため、文化観光センターの改築を行う。平成21年度は、既存施設の解体及び基本・実施設計などを行う。

△所在地 雷門2丁目18番9号

△解体時期 平成21年初夏予定

△新センター開設時期 平成23年中予定

● (22) 新観光ビジョンの策定 (P. 257) 1,166万円

(にぎわい計画課)

観光庁の設置や東京スカイツリーの開業等、観光を取り巻く環境の変化に即応するため、産業と文化の視点を取り入れ、新たな「台東区観光ビジョン」を策定し、今後の観光施策の方針を定める。

△計画期間 平成22年度～平成26年度

5 産業経済費

(23) 旧福井中学校跡地活用 (P. 262) 864万円

(にぎわい計画課)

旧福井中学校跡地に、民間活力による地域活性化施設を整備する。

平成21年度は、公募型プロポーザル方式により民間事業者を決定し、基本協定を締結する。

△所在地 浅草橋1丁目22番15号

(24) 産業研修センター事業者支援施設の整備 (P. 263)

1億6,575万円

(産業振興課)

地場産業の振興と活性化を図るため、産業研修センターの一部に事業者支援施設を整備する。

平成21年3月から改修工事に着工し、平成21年度は、インキュベーションマネージャー(村長)や入居者(9室)の募集等を行う。

△所在地 橋場1丁目36番2号

△開設予定 平成21年12月

● (25) 芸術文化・産業連携モデル (P. 265)

300万円

(産業振興課)

東京藝術大学と区内地場産業事業者が協働し、商品開発を行う産学連携モデル事業を実施する。このモデル事業を通して、藝大と区内地場産業事業者の連携方法を調査・検討し、芸術文化と区内産業の連携した商品開発を促進する。

● (26) エコアクション21等取得支援 (P. 266)

112万円

(産業振興課)

エコアクション21やISO認証を取得する区内中小企業者

を対象に、取得経費の一部を助成する。これにより、環境に配慮した経営体質、強固な経営基盤・良質な品質管理体制の確立を促進する。

△助成対象者 台東区内に事業所を有する中小企業者

△助成対象事業

○エコアクション 21（環境活動評価プログラム）の認証取得

○ISO 9001（品質管理基準）の認証取得

○ISO 14001（環境管理基準）の認証取得

△助成金額

○エコアクション 21

助成対象経費の1／2以内（限度額20万円）

○ISO

助成対象経費の1／2以内（限度額50万円）

●(27)中小企業状況調査(P.266)

397万円

(産業振興課)

区が臨時職員を直接雇用し、区内中小企業の経営状況等に関するアンケート調査を実施するとともに、産業施策の紹介パンフレットを配布し、雇用の創出を図る。回収したアンケート調査は分析を行い、今後の産業施策に活用する。

△時期 平成21年4月～5月

△パンフレット配布数 25,000社

△アンケート配布数 5,000社

△雇用人数 延22名

6 土木費

(28) 上野中央通り地下駐車場運営 (P. 271) 1億7,963万円

(道路交通課)

上野地区のまちづくりにおける課題の1つであった路上駐車を減少させるため、上野中央通り地下駐車場を開設する。これにより、道路交通の円滑化、来街者の利便性向上、地域の活性化を図る。

△所在地 上野2丁目13番先(中央通り、不忍通り地下)

△施設概要

○駐車形式 機械式

○駐車台数 300台

○駐車できる車両

全長5.3m、全幅1.9m、全高2.0m、総重量2.3t以下の自動車(二輪車を除く)

△駐車料金 30分ごとに300円

※回数券、プリペイドカードの設定あり

△営業時間 24時間営業

△開業日時 平成21年3月16日(月)午前10時

●(29) 鶯谷自転車駐車場拡張整備 (P. 271)

490万円

(道路交通課)

鶯谷駅周辺の自転車駐車場不足を解消するため、現在ある鶯谷自転車駐車場(469台)に加え、隣接する鶯谷放置自転車一時保管所の一部を自転車駐車場として拡張整備する。

△鶯谷自転車駐車場（拡張部分）

○所在地 根岸1丁目5番先

○拡張部分の収容可能台数 約200台

●(30)電線類地中化モデル実施（P. 275） 3,000万円

（土木課）

道路上の電柱や電線を地中化することにより、利用者の快適で安全な通行空間を確保し、都市防災機能の強化及び都市景観の向上を図るため、モデル事業に着手する。

△事業内容 詳細設計

△事業箇所 かつぱ橋本通り

（西浅草2丁目22番～西浅草3丁目1番）

△着工予定 平成22年度

(31)緑と水辺を活かす隅田公園づくり（桜橋整備・園地整備）

（P. 282、P. 283）

8,318万円

（公園課）

東京スカイツリー開業を見据え、隅田川の水辺空間と良好な眺望を活かしたまちづくりを着実に推進するため、“おもてなし”の視点で隅田公園の充実・魅力アップを図り、にぎわい・誘客に寄与する公園づくりを行う。

△対象箇所 区立隅田公園（桜橋を含む）

△所在地 花川戸1丁目1番～今戸1丁目1番

△事業概要

- 花の名所づくりの推進
- 隅田公園再整備（浅草船着場周辺修景整備実施設計）
- 桜橋落橋防止システム設置（設計・工事）
- 桜橋テラス部転落防止柵設置（設計・工事）

(32) 交通システム（回遊性）検討調査（P. 287） 500万円

（都市計画課）

浅草地域、上野地域と東京スカイツリーとの交通アクセスと回遊性の向上を図るため、平成20年度調査を踏まえて、利用者の意向調査、交通需要の推計、新たな交通システムの導入検討など事業化に向けた詳細な検討調査を実施する。

(33) 浅草地域まちづくりビジョン推進（P. 287） 667万円

（都市計画課）

浅草の魅力と賑わいを高めるための「浅草地域まちづくり総合ビジョン」を推進する。

協議会を開催して、三つのプロジェクト、「アクセス環境充実」、「賑わい創出」、「水辺活性化」を着実に実施し、浅草の歴史と文化を活かしたまちづくりを進める。

(34) 景観まちづくり推進（P. 287） 1,704万円

（都市計画課）（まちづくり推進課）

地域の特性を活かしながら、新たな都市景観を創出し、調和のとれた潤いのある景観形成を図ることを目的として、区

では平成15年度から「台東区景観まちづくり条例」に基づき、区民・事業者等と協働して景観まちづくり事業を推進している。

さらに、平成20年度からは、景観法に基づく景観行政団体へ移行することを目標として「景観計画」策定に着手している。

景観行政団体移行後は、この「景観計画」に沿って、より実効性の高い景観まちづくり事業を推進する。

△主な事業内容

○景観事前協議届出の受理及び助言・指導等

○景観に関する意識啓発

(景観ふれあいまつりの開催・景観ニュースの発行等)

○景観協定の認定 ○景観審議会の運営等

(35) 谷中地区まちづくり (P. 288)

8, 054万円

(地区整備課)

谷中地区は、江戸時代からの寺町として歴史的空間が残る貴重な地区であり、「美しい日本の歴史的風土100選」に選定されている。しかし、老朽住宅が密集し、道路整備も立ち遅れている地区でもある。

そのため区では、防災性の向上、道路等の基盤整備を図り、また、歴史的な財産や景観資源を活かした魅力あるまちづくりを推進している。

平成21年度は、まちづくり交付金を活用し、道路の修景整備、案内板の設置、公衆便所の改修などを行う。

- △事業地区 谷中1丁目～5丁目、
上野桜木1丁目・2丁目（83ha）
- △事業期間 平成17年度～平成21年度

●(36)浅草地域ライトアップ構想基礎調査（P.288） 550万円

（都市計画課）

浅草地域のさらなる賑わいの創出に寄与するよう、東京スカイツリーの開業も見据え、地域の特性を踏まえた統一感のある良好な夜間景観を、区民との協働で形成していくためのライトアップ構想を検討する。

△調査内容

- 水辺、道路、商店街等の照明環境の現状
- ライトアップ手法の課題整理等

●(37)水辺の散策ルート整備（P.288） 190万円

（まちづくり推進課）

「浅草地域まちづくり総合ビジョン」の水辺活性化プロジェクトにおける水辺の散策ルートとして、新たな回遊性の創出を目指し、歩行者空間を重視した街路整備を行う。

平成21年度は、交通量調査及びイメージ図（パース）の作成等を行い、地元、関係機関等との協議及び設計を進める。

△対象箇所

- JR総武線脇区道、江戸通りから隅田川までの区間
（柳橋1丁目13番～28番）

7 教育費

(38) 学力向上推進ティーチャー (P. 298) 1億3,842万円

(指導課)

教員と連携して学習指導にあたるティームティーチング(TT)や、少人数集団に分かれて学習させる少人数指導の指導者として区立小・中学校に講師を配置する。

これにより児童・生徒の学力向上に努めるほか、各学校の状況に応じて放課後の学習教室等の指導を実施し、児童・生徒の学習機会を増やすことやきめ細やかな指導を行う。

平成21年度は、児童・生徒の更なる学力向上を目指し、配置時間増を行う。

△平成21年度の配置時間

○小学校 25時間/校・週(20時間)

○中学校 42時間/校・週(21時間)

※括弧内は平成20年度の配置時間

●(39) 学びサポートシステム (P. 299)

364万円

(指導課)

区立小・中学校にインターネットを利用した演習問題配信システムを導入する。本システムは、1人1人の児童・生徒の習熟度に応じた演習問題のダウンロードが可能である。これを授業や放課後、家庭学習等で活用することにより、基礎的・基本的内容を確実に身に付けさせるとともに、学習習慣の定着を図る。

△小学校 2教科（国語、算数）

△中学校 3教科（国語、数学、英語）

●(40)読書活動推進モデル実施（P.299）

286万円

（指導課）

区立小・中学校に司書を派遣し、学校の司書教諭等と連携して児童・生徒の学校図書館利用を推進する。司書は、学校図書館の環境整備や児童・生徒へのレファレンスサービスを行う。

また、本事業を学力向上施策の1つとして位置づけ、学校図書館を活用して児童・生徒の学力向上を図っていく。

平成21年度はモデル事業として実施する。

△司書派遣校数 小学校3校、中学校1校

(41)教育支援館運営（P.301）

4,497万円

（教育支援館）

教育研究・情報、教育相談・指導、教職員研修・学校支援活動の事業を行うため、きょういく館を改称し、教育支援館として管理運営する。

平成21年度から新たに、学習内容理解のため日本語指導が必要な児童・生徒の在籍する区立小・中学校へ、日本語指導講師を派遣する。

△日本語指導講師の派遣回数 20回／人

(42) 小・中学校パソコン整備 (P. 304、P. 312)

1 億 7, 8 3 4 万円

(庶務課)

教員 1 人に 1 台のパソコンを配備し、ネットワークを構築することによって、個人情報のセキュリティをより一層向上させるとともに、事務の簡素化・効率化を目指す。更に、これを外部データセンターに設置する教職員専用のシステムにより管理する体制を整備する。

(43) 柏葉中学校等複合施設大規模改修 (P. 180、P. 311、P. 326)

1 9 億 8, 7 3 5 万円

(区民課) (庶務課) (児童保育課)

改築後 2 9 年が経過し老朽化している柏葉中学校等複合施設の電気・ガス・水道等の設備更新工事を行うとともに、耐震補強工事を実施する。

改修に合わせて、柏葉中学校を区内初となる「教科教室型施設」として整備するとともに、屋上緑化を行い環境にも配慮する。

△所在地 下谷 3 丁目 1 番 2 9 号

△施設概要 (校舎棟・体育館棟 地上 5 階建)

- 柏葉中学校 校舎棟 2 ～ 5 階 体育館棟 2 ～ 4 階
- 台東幼稚園 校舎棟 1 階
- 下谷こどもクラブ 校舎棟 2 階
- 西部区民事務所 体育館棟 1 階
- 金杉区民館 体育館棟 1 ～ 2 階

△延床面積 11,800㎡

△改修工事期間 平成21年4月～平成22年3月
中旬

(44) こどもクラブ運営 (P. 326) 3億9,404万円

(児童保育課)

平成20年度に策定した「こどもクラブ整備緊急3ヵ年プラン」に基づき、こどもクラブの待機児童解消を図るため、新たに2箇所のこどもクラブを設置する。

また、竜泉こどもクラブの定員拡大や保育時間延長を実施し、こどもクラブの充実を図る。

△開設地域及び定員

○富士小学校区 30名

○田原小学校区 30名 計60名

△竜泉こどもクラブの保育充実

○定員拡大 20名増

○保育時間延長 午後7時まで

● **(45) こどもクラブ障害児保育学年延長モデル (P. 326)**

810万円

(児童保育課)

障害児の受入枠を拡大するとともに、障害児の対象学年を小学校6年生までに延長したモデル事業を実施する。

このモデル事業の実施結果を踏まえて、こどもクラブにおける障害児保育の充実を図っていく。

△実施クラブ	1箇所
△対象学年	小学校6年生まで
△対象人数	6名

●(46)ことぶきこども園管理運営 (P. 329) 2億3,533万円

(学務課)

区内2箇所目となる認定こども園を開設し、就学前教育の充実と地域の子育て家庭への支援を図る。こども園の管理運営は、指定管理者が行う。

△開設年月日	平成21年4月1日
△開設場所	寿1丁目10番9号(旧済美小学校)
△事業内容	
○定員	0～5歳児 193名
○開園時間	午前7時～午後8時(延長保育時間含む)
○教育・保育等	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時から就学前までの一貫した教育・保育 ・延長保育、預かり保育、一時保育、子育て相談等
△指定管理者	特定非営利活動法人 子育て台東

(47)世界遺産登録推進 (P. 333)

506万円

(生涯学習課)

20世紀を代表する世界的に有名な建築家ル・コルビュジェが設計した国立西洋美術館の世界遺産登録に向け、平成20年度に引き続き見学会の実施など、登録推進事業を

展開する。

△登録可否決定時期 平成21年6月

(48) 池波正太郎記念文庫 (P. 336)

2, 361万円

(中央図書館)

池波正太郎氏の業績を称え、作品の世界を紹介するため、池波氏に関する資料の収集・整理を行うとともに、池波氏以外の傑作時代小説についても収集・保存・公開し、充実を図る。

記念文庫では、新たに、池波作品の舞台を気軽に回れる散歩コースや池波氏ゆかりの地を紹介する「(仮称)池波正太郎ガイドマップ」を製作するなど、各種グッズの販売を行う。

また、池波氏と親交のあった文芸ジャーナリスト・文芸評論家・作家等による講演会(1回)や講座(6回)、作品の舞台や遺愛品等を展示する企画展(4回)なども開催する。

△主な事業内容

- 企画展の開催
- 講演会の開催
- 文学講座の開催
- 池波正太郎記念文庫報の発行
- グッズの作成・販売
- (仮称)池波正太郎ガイドマップの製作

(49) リバーサイドスポーツセンター体育館大規模改修 (P. 343)

13億9,378万円

(青少年・スポーツ課)

台東リバーサイドスポーツセンター体育館は、昭和58年6月の竣工から25年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいる。

これに対応するため、平成20年11月中旬より体育館を休館し、改修工事を実施しているが、平成21年度は工事の最終年度となる。

△主な改修内容

○老朽箇所の改修

電気・機械設備、給水管、床張替、屋上防水、外壁等

○施設利用者の安全性、利便性、快適性の向上

- ・1階レイアウトの全面変更
- ・全館冷暖房設備の新設
- ・救急搬送対応型のエレベーター設置

△休館期間

平成20年11月17日～平成21年7月下旬(予定)

△改修工事期間 平成20年12月～平成21年6月

△リニューアルオープン 平成21年7月下旬(予定)

△所在地 今戸1丁目1番10号

△敷地面積 2,697.93㎡(体育館)

△延床面積 11,939.34㎡(体育館)

△規模 地上5階 地下1階

△施設概要《体育館》

第一競技場、第二競技場、第一武道場、第二武道場、
弓道場、相撲場、エアライフル場、卓球場、トレーニングルーム、会議
室

8 特別会計

● (50) 【一般会計 (P. 218) ・老人保健施設会計 (P. 338) ・病院施設会計 (P. 372)】

台東病院・老人保健施設千束運営 7億1,895万円

(健康課・高齢福祉課)

23区初の区立病院が平成21年4月1日に開院し、台東区における高齢者の慢性期医療を担う拠点病院となる。

あわせて、既存の老人保健施設千束(千束3丁目28番13号)を同じ建物の中に移転・増床し、病院と一体的に運営することにより高齢者の在宅復帰や在宅生活を支援する。

また、(仮称)医療連携室で、医療や介護に関する総合的な相談に応じ、住み慣れた家庭や地域で暮らし続けられるように支援する。

平成21年度から10年間、指定管理者である社団法人地域医療振興協会が、病院及び老人保健施設の管理運営を行う。

△事業内容 病院・老人保健施設の運営、運転資金の貸付

△所在地 千束3丁目20番5号

△敷地面積 5,087㎡

△延床面積 17,328㎡

△規模 地上8階 地下1階

△施設概要

○《病院》

・名称：東京都台東区立台東病院

・病床数：120床(一般病床40床、療養病床80床)

- ・診療科目：内科、整形外科、リハビリテーション科
眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科

- ・救急医療：初期救急

 - 小児初期救急（準夜間・休日昼間）

○《老人保健施設》

- ・名称：東京都台東区立老人保健施設千束

- ・入所定員：150床

 - （一般100床、認知症50床、うちショートステイ30床を含む）

- ・通所リハビリテーション：1日40人